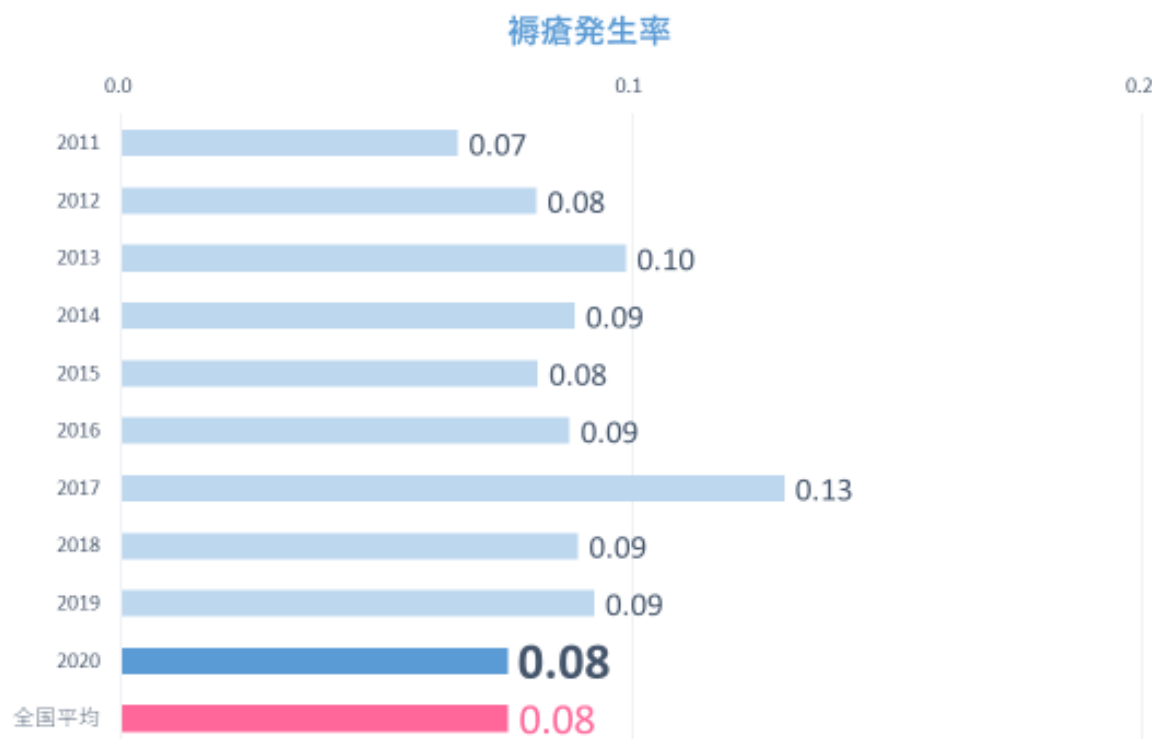


褥瘡発生率

医療の質を評価する側面
Outcome

日本病院会QIプロジェクトデータより



(単位:%)

分子:d2(真皮までの損傷)以上の院内新規褥瘡発生患者数

分母:同日入院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数(人日)

参考:2019年度 QIプロジェクト 一般病床 351医療機関

褥瘡発生率

医療の質を評価する側面
Outcome

項目の解説

入院患者における新規褥瘡発生患者の発生率を表しています。

褥瘡は、患者のQOL(quality of life:生活の質)の低下をきたすとともに、感染を合併すると治癒するまでに時間を要し、在院日数の長期化や医療費の増大につながるため、重要な指標の一つです。

2020当院データの分析

院内新規褥瘡発生率は、全国平均と同程度である。

数値改善に向けた今後の取り組み

入院患者のアセスメント、ベッドのマットレスの選択、体位変換などを徹底しているが、特に全身状態の悪化に伴う発生リスクを考慮し、より質の高いケアを実施していく。